

事業者排出量削減報告書

|   |  |  |                                |                |   |                |            |
|---|--|--|--------------------------------|----------------|---|----------------|------------|
| (宛先) 京都府知事                                    |  | 平成29年9月20日   |                                |                |   |                |            |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）<br>大阪市中央区北浜4丁目8番4号 |  | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）<br>林ベニヤ産業株式会社<br>代表取締役社長 内藤 和行<br>電話 06 - 6228 - 1401 |                                |                |   |                |            |
| 主たる業種   | 木材木製品製造業   |  |                                |                | 細分類番号   | 1   3   2   2  |            |
| 事業者の区分  | 京都府地球温暖化対策条例施行規則                                     |  |                                |                | <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号<br><input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号<br><input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号 |                |            |
| 計画期間  | 平成26年4月から平成29年3月まで                                   |  |                                |                |   |                |            |
| 基本方針  | 計画期間中に基準年度の温室効果ガス排出量を原単位で5%削減する。                     |  |                                |                |   |                |            |
| 計画を推進するための体制                                  | 工場長をリーダーとする管理組織において、平成25年度を基準年度とする新たな実行計画の進捗管理を実施する。 |  |                                |                |   |                |            |
| 温室効果ガスの排出の量                                   | 温室効果ガスの排出の量  | 基準年度<br>(25)年度   | 第1年度<br>(26)年度                 | 第2年度<br>(27)年度 | 第3年度<br>(28)年度  | 増減率            |            |
|   | 事業活動に伴う排出の量  | 7,894.7 トン   | 7,102.3 トン                     | 7,079.5 トン     | 7,583.1 トン  | -8.1 パーセント     |            |
|   | 評価の対象となる排出の量   | 8,012.9 トン   | 7,102.3 トン                     | 7,079.5 トン     | 7,583.1 トン  | -9.5 パーセント     |            |
|   | 実績に対する自己評価   | 新型設備導入で2ラインを1ライン化することによる省電力化対策を実施したが、生産枚数増加により稼働時間の増加となり排出量が前年より増加となった。        |                                |                |   |                |            |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等                             | 事業の用に供する建築物の用途                                       | 原単位の指標   | 基準年度<br>(25)年度                 | 第1年度<br>(26)年度 | 第2年度<br>(27)年度  | 第3年度<br>(28)年度 | 増減率        |
|   | 工場   | 事業活動に伴う排出の量<br>(生産数量×1/10000)  | 10.90                          | 10.56          | 14.12   | 9.77           | 5.35 パーセント |
|   |  | 事業活動に伴う排出の量<br>( )   |                                |                |   |                | パーセント      |
|   |  | 実績に対する自己評価   | フル生産の結果排出量は増えたが原単位での排出量は削減できた。 |                |   |                |            |
| 重点的に実施する取組の実施状況                               |  | 基準年度<br>(25)年度   | 第1年度<br>(26)年度                 | 第2年度<br>(27)年度 | 第3年度<br>(28)年度  | 備考             |            |
|   |  | 46.0 パーセント   | 73.0 パーセント                     | 73.0 パーセント     | 73.0 パーセント  |                |            |
| 具体的な取組及び措置の内容                                 | (26)年度   | 照明器具を省電力タイプに変更。  |                                |                |   |                |            |
|   | (27)年度   | 社用車、グラブ等低排出ガス基準車に変更。   |                                |                |   |                |            |
|   | (28)年度   | 製造工程の仕上げライン2ラインを1ラインに集約。   |                                |                |   |                |            |
| 通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置           | 措置の内容  | 措置なし   |                                |                |   |                |            |
|   | 上記の措置を実施した結果に対する自己評価                                 | 通勤時間にバスの運行が無いため地理的に自家用車による通勤を控えることができない。                                       |                                |                |   |                |            |
| 森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量     | 区分   | 第1年度<br>(26)年度   | 第2年度<br>(27)年度                 | 第3年度<br>(28)年度 | 備考  |                |            |
|   | 森林の保全及び整備によるもの                                       |  |                                |                |   |                |            |
|   | 地域産木材の利用によるもの  |  |                                |                |   |                |            |
|   | 再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの                          |  |                                |                |   |                |            |
|   | グリーン電力証書等の購入によるもの                                    |  |                                |                |   |                |            |
|   | 温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの                           |  |                                |                |   |                |            |
| 合計  | 0.0 トン   | 0.0 トン   | 0.0 トン                         |                |   |                |            |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動                             | 間伐材の優先利用。近隣地域材優先活用。                                  |  |                                |                |   |                |            |
| 特記事項  | 第一計画期間の超過削減量を、第二計画期間の温室効果ガス排出量から次のとおり差し引く。           |  |                                |                |   |                |            |
|   | 超過削減量  | 第1年度   | 第2年度                           | 第3年度           |   |                |            |
|   |  | トン   | トン                             | トン             | トン  |                |            |
|   | 国産材利用率を上げ、輸送に伴うCO2削減を実行。                             |  |                                |                |   |                |            |

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。